

I 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、人が継続的に摂取した場合に健康を損なうことが懸念される物質であることから、県及び大気汚染防止法に定める政令市（さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市）では、大気汚染防止法に基づき、平成9年10月からモニタリング調査を実施している。

1 調査地点

県は、全国標準監視地点6地点（表I-1）で、政令市は、全国標準監視地点7地点、地域特設監視地点11地点の計18地点（表I-2）で調査を実施した（図I-1）。

表I-1 県調査地点

地点区分	地域分類 (旧区分)	地点名	試料採取場所	所在地
全国標準監視地点	一般環境	熊谷測定局	熊谷市役所	熊谷市宮町2-47-1
		東松山測定局	五領町近隣公園	東松山市五領町8
		春日部市役所	春日部市役所	春日部市中央7-2-1
		環境科学国際C測定局	環境科学国際センター	加須市上種足914
	沿道	草加市花栗自排測定局	花栗中学校	草加市花栗4-15-12
		戸田美女木自排測定局	西部福祉センター	戸田市美女木5-2-16

表 I - 2 政令市調査地点

政令市名	地点区分	地域区分 (旧区分)	地点名
さいたま市	全国標準監視地点	一般環境	さいたま市役所測定局
		沿 道	三橋自排測定局
	地域特設監視地点	一般環境	大宮区役所
			健康科学研究センター
			城南測定局
			岩槻測定局
沿 道	曲本自排測定局		
	大和田自排測定局		
川越市	全国標準監視地点	一般環境	川越測定局
			高階測定局
	地域特設監視地点	沿 道	仙波測定局
川口市	全国標準監視地点	一般環境	南平測定局
	地域特設監視地点		芝測定局
			石神配水場
	沿 道	神根測定局	
所沢市	全国標準監視地点	一般環境	北野測定局
	地域特設監視地点	沿 道	和ヶ原測定局
越谷市	全国標準監視地点	一般環境	東越谷測定局

3 調査方法

本調査は、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」に従い、表 I - 3 に示す方法で行った。

表 I - 3 調査方法一覧

調査対象物質	調査方法
揮発性有機化合物 (VOC)	容器採取 (減圧採取装置) - GC/MS 法
アルデヒド類	固相捕集 - HPLC 法
酸化エチレン	固相捕集 - 溶媒抽出 - GC/MS 法
ベンゾ[a]ピレン	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 超音波抽出 - HPLC 法
水銀及びその化合物	金アマルガム捕集 - 加熱気化冷原子吸光法
その他の重金属類	ハイボリウムエアサンプラ捕集 - 誘導結合プラズマ質量分析法

(1) 試料採取方法

各物質とも以下に示す方法で毎月 1 回 24 時間連続採取した。また、精度管理のためにトラベルブランク 3 試料と二重測定 1 試料を月ごとに地点を変えて採取した。

① VOC

あらかじめ減圧にしたキャニスタに定流量制御装置を接続して、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を採取した。

② アルデヒド類

オゾンスクラバを前段に接続した 2,4-DNPH 捕集管に、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を吸引し捕集した。

③ 酸化エチレン

グラファイトカーボン系吸着剤を臭化水素酸に含浸させ乾燥させたものを充填した捕集管に直接大気試料を通気し、酸化エチレンを誘導体化して 2-ブロモエタノールとして捕集した。

④ ベンゾ[a]ピレン

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

⑤ 水銀及びその化合物

珪藻土粒子等の表面に金を焼き付けした捕集剤を充填した捕集管を用いて大気を吸引し、水銀を金アマルガムとして捕集した。

⑥ その他の重金属類

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

(2) 分析方法

各物質は以下に示す方法に従い分析を行った。分析に当たっては、操作ブランク試験、トラベルブランク試験、分析装置の感度試験、二重測定試験及び定量下限値測定を実施して測定の信頼性を評価し、適宜再測定又は測定値の補正を行った。

① VOC

試料を試料導入装置で低温濃縮した後、GC/MS法により分析した。

② アルデヒド類

誘導体として捕集管に採取した試料をアセトニトリルで抽出し、HPLC法により分析した。

③ 酸化エチレン

誘導体として捕集管に採取した試料をトルエン/アセトニトリルで抽出し、GC/MS法により分析した。

④ ベンゾ[a]ピレン

ろ紙試料の適量についてジクロロメタンを用いて超音波抽出を行い、HPLC法により分析した。

⑤ 水銀及びその化合物

捕集管を加熱し、気化した原子状水銀を原子吸光法により分析した。

⑥ その他の重金属類

ろ紙試料の1/4を圧力容器法による前処理を行い、誘導結合プラズマ質量分析法により分析した。

4 調査結果

各物質の地点別年平均濃度を表I-4～7に示す。

なお、検出下限値未満の測定値が得られた月については検出下限値の1/2の濃度として取り扱った。

表I-8に環境基準達成率の推移を、表I-9に国内外の環境基準値や指針値等を示す。

令和6年度の測定結果を環境基準及び指針値と比較すると、全ての地点で環境基準及び指針値を下回っていた。

表 I - 4 各物質の地点別年平均濃度①

測定主体	地点区分	測定地点の名称	環境基準設定物質				指針値設定物質											
			ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	水銀及びその化合物	ニッケル化合物	ヒ素及びその化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	マンガン及びその化合物	アセトアルデヒド [*]	塩化メチル	
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³	
埼玉県	全国標準監視地点	熊谷測定局	0.75	0.31	(0.051)	0.53	(0.052)	0.022	1.5	0.97	0.43	0.30	0.078	0.032	8.7	1.6	1.1	
			0.81	0.54	0.063	1.7	0.080	0.036	1.7	1.3	0.67	0.16	0.15	0.10	15	2.4	2.0	
	全国標準監視地点	東松山測定局	0.78	0.41	0.064	0.86	(0.063)	(0.015)	1.4	1.2	0.44	0.40	0.088	0.040	8.2	1.8	1.1	
			0.79	0.53	0.074	2.4	(0.067)	(0.026)	1.7	1.1	0.67	0.20	0.15	0.099	13	2.3	2.2	
	全国標準監視地点	春日部市役所	0.79	0.56	0.076	0.57	(0.054)	0.026	1.7	1.5	0.52	0.35	0.079	0.040	9.2	1.8	1.0	
			0.97	0.67	0.091	1.8	0.072	0.042	1.8	1.4	0.69	0.20	0.970	0.076	15	2.6	2.0	
	全国標準監視地点	環境科学国際C測定局	0.73	0.54	(0.042)	0.77	(0.057)	0.021	1.6	1.2	0.43	0.40	0.084	0.037	8.4	2.0	1.1	
			0.79	0.82	0.083	2.2	(0.066)	0.056	1.7	1.2	0.63	0.20	0.15	0.088	12	2.2	2.2	
	全国標準監視地点	草加市花栗自排測定局	0.97	0.85	0.19	0.83	0.095	0.037	1.4	1.5	0.55	0.44	0.093	0.079	10	2.4	1.1	
			1.2	1.0	0.18	1.9	0.12	0.10	1.7	2.0	0.76	0.22	0.16	0.19	15	2.5	2.1	
	全国標準監視地点	戸田美女木自排測定局	0.98	1.1	0.36	0.81	(0.073)	0.027	1.6	2.2	0.56	0.39	0.094	0.072	15	2.1	1.0	
			0.88	0.85	0.37	1.9	(0.062)	0.056	1.7	2.4	0.70	0.26	0.16	0.10	20	2.2	2.0	
	さいたま市	全国標準監視地点	さいたま市役所測定局	0.54	0.42	0.11	1.1	0.020	0.038	1.8	1.4	0.55	0.17	0.12	0.039	11	2.4	1.4
				0.59	0.63	0.20	1.3	0.024	0.022	1.8	2.0	0.94	0.16	0.12	0.041	20	3.0	1.5
全国標準監視地点		三橋自排測定局	0.72	0.52	0.050	1.2	0.018	0.023	1.9	1.4	0.56	0.16	0.12	0.072	14	2.2	1.4	
			0.74	0.83	0.12	1.5	0.021	0.021	2.0	2.5	0.94	0.16	0.13	0.056	22	2.7	1.6	
地域特設監視地点		大宮区役所	0.52	0.39	0.062	1.3	0.015	0.031		1.3	0.51	0.16	0.12	0.033	12		1.4	
			0.58	0.58	0.10	1.3	0.022	0.025		3.2	0.91	0.15	0.13	0.037	22		1.6	
地域特設監視地点		健康科学研究センター	0.60	0.40	0.083	1.6	0.017	0.033		1.2	0.52	0.18	0.13	0.047	11	2.4	1.5	
			0.59	0.64	0.096	1.8	0.022	0.018		2.0	0.99	0.25	0.13	0.038	20	2.9	1.5	
地域特設監視地点		城南測定局	0.61	0.63	0.059	1.4	0.024	0.032				0.16	0.11	0.052			1.4	
地域特設監視地点		岩槻測定局	0.57	0.47	0.057	1.5	0.021	0.023				0.15	0.11	0.045			1.4	
			0.73	1.0	0.13	1.7	0.035	0.067				0.16	0.13	0.038			1.4	
地域特設監視地点		曲本自排測定局	0.66												0.071	2.6		
			0.73												0.070	3.3		
地域特設監視地点	大和田自排測定局	0.64												0.057	2.2			
		0.71												0.047	3.0			

上段は令和6年度、下段は令和5年度の値

は、測定未実施

(注) 検出下限値未満のデータが存在する場合には、原則として、当該検出下限値に1/2を乗じた値を用いて年平均濃度を算出した。
 全検体が検出下限値未満であった等の理由により、年平均濃度が検出下限値を下回る場合には、年平均濃度を括弧書きで表示した。

表 I - 5 各物質の地点別年平均濃度②

測定主体	地点区分	測定地点の名称	環境基準設定物質				指針値設定物質										
			ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	水銀及びその化合物	ニッケル化合物	ヒ素及びその化合物	クロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	マンガン及びその化合物	アセトアルデヒド*	塩化メチル
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³
川越市	全国標準監視地点	川越測定局	0.59	0.39	0.066	2.9	0.025	0.016	1.6	3.2	0.55	0.14	0.11	0.040	10	3.3	1.3
			0.65	0.50	0.041	2.1	0.011	0.0082	1.5	5.5	0.54	0.16	0.080	0.026	13	2.9	1.3
	全国標準監視地点	高階測定局	0.61	0.61	0.078	3.5	0.023	0.017	1.6	1.4	0.51	0.15	0.10	0.046	8.5	2.7	1.3
			0.63	0.66	0.037	2.6	0.014	0.0086	1.6	1.4	0.56	0.19	0.082	0.026	13	2.7	1.3
	地域特設監視地点	仙波測定局	0.63											0.050		3.0	
		0.70											0.030		2.8		
川口市	全国標準監視地点	南平測定局	0.75	2.7	0.38	3.0	0.037	0.044	1.8	2.4	0.60	0.23	0.15	0.066	16	2.3	1.4
			0.86	2.0	0.32	2.1	0.059	0.083	1.8	3.8	0.77	0.24	0.15	0.071	26	3.3	1.3
	地域特設監視地点	芝測定局	0.69	0.57	0.11	1.5	0.031	0.047	1.8	2.0	0.60	0.19	0.15	0.053	12	2.4	1.4
			0.74	0.65	0.11	1.3	0.041	0.033	1.8	2.6	0.69	0.19	0.14	0.053	22	3.6	1.4
	地域特設監視地点	石神配水場								2.7	0.53				11	2.2	
										2.6	0.68				18	3.4	
所沢市	全国標準監視地点	北野測定局	0.79											0.080		2.8	
			0.85											0.073		3.6	
	地域特設監視地点	和ヶ原測定局	0.60	0.83	0.060	1.2	0.017	0.025	1.7	1.1	0.36	0.19	0.11	0.054	6.9	2.3	1.3
			0.64	1.3	0.038	1.1	0.0058	0.0082	1.6	0.99	0.50	0.15	0.084	0.024	8.8	2.6	1.2
地域特設監視地点	和ヶ原測定局	0.73											0.082		2.5		
		0.74											0.046		2.8		
越谷市	全国標準監視地点	東越谷測定局	0.69	0.50	0.061	2.1	0.023	0.045	1.5	2.9	0.48	0.19	0.093	0.061	8.4	2.1	1.7
			0.88	0.72	0.10	3.0	0.044	0.057	1.8	2.0	0.71	0.18	0.10	0.075	16	2.9	1.6

上段は令和6年度、下段は令和5年度の値
 は、測定未実施

表 I - 6 各物質の地点別年平均濃度③

測定主体	地点区分	測定地点の名称	その他の優先取組物質							優先取組物質以外の物質					その他 浮遊粉じん		
			酸化エチレン	トルエン	ベンゾ[a]ピレン	ホルムアルデヒド	カドミウム及びその化合物	鉛及び三価クロム化合物	六価クロム化合物	亜鉛及びその化合物	カドミウム及びその化合物	キリン類	鉛及びその化合物	ベンゾ[a]ピレン			
			μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³		ng/m ³	μg/m ³
埼玉県	全国標準監視地点	熊谷測定局	0.062	7.7	(0.004)	0.040	2.4	1.3			26	0.072	1.4	2.6	0.83	19	
			0.057	13	(0.003)	0.085	3.0	1.8			41	0.14	1.7	5.6	1.5	32	
	全国標準監視地点	東松山測定局	0.053	6.0	(0.004)	0.058	2.3	1.3			31	0.075	1.5	3.1	0.83	21	
			0.050	8.3	(0.003)	0.10	2.9	1.7			42	0.12	1.8	6.4	1.4	35	
	全国標準監視地点	春日部市役所	0.058	8.3	(0.004)	0.074	2.4	1.7			33	0.090	1.7	3.7	0.77	19	
			0.064	11	(0.003)	0.12	3.4	2.5			51	0.13	2.4	6.1	1.3	32	
	全国標準監視地点	環境科学国際C測定局	0.052	11	(0.004)	0.058	3.2	1.6			26	0.082	1.6	2.5	0.69	18	
			0.057	11	(0.003)	0.088	2.7	1.6			37	0.11	2.1	5.2	1.2	27	
	全国標準監視地点	草加市花栗自排測定局	0.062	11	(0.004)	0.097	4.7	2.4			51	0.076	2.0	4.3	0.94	25	
			0.063	9.4	(0.003)	0.16	2.8	2.9			63	0.12	2.3	9.5	1.5	35	
	全国標準監視地点	戸田美女木自排測定局	0.059	20	(0.004)	0.098	2.6	3.7			95	0.080	2.9	13	1.4	32	
			0.056	14	(0.003)	0.10	2.7	4.0			84	0.13	2.5	12	1.8	43	
	さいたま市	全国標準監視地点	さいたま市役所測定局	0.072	8.1	0.010	0.059	2.0	2.4			39	0.074	1.4	5.2	1.0	
				0.081	11	0.020	0.10	2.6	3.7			59	0.15	1.1	17	1.9	
全国標準監視地点		三橋自排測定局	0.067	6.3	0.010	0.071	1.8	2.8			58	0.090	1.6	4.9	1.4		
			0.084	9.5	0.020	0.12	2.4	4.6			71	0.16	1.4	18	2.2		
地域特設監視地点		大宮区役所		5.6	0.010			2.4			42	0.075	1.1	4.4	1.0		
				7.9	0.019			4.5			62	0.15	1.2	9.8	1.9		
地域特設監視地点		健康科学研究センター	0.073	5.6	0.010	0.058	2.0	2.3			40	0.082	1.2	6.8	1.0		
			0.083	8.0	0.022	0.10	2.4	3.7			56	0.15	1.1	26	1.9		
地域特設監視地点		城南測定局		7.8									1.5				
地域特設監視地点		岩槻測定局		7.9									1.3				
				11									1.4				
地域特設監視地点		曲本自排測定局		16		0.078	2.2						2.3				
				36		0.10	2.8						1.7				
地域特設監視地点	大和田自排測定局	0.064	7.1		0.068	2.0						1.5					
		0.083	8.7		0.14	2.7						1.3					

上段は令和6年度、下段は令和5年度の値

は、測定未実施

(注) 検出下限値未満のデータが存在する場合には、原則として、当該検出下限値に1/2を乗じた値を用いて年平均濃度を算出した。
 全検体が検出下限値未満であった等の理由により、年平均濃度が検出下限値を下回る場合には、年平均濃度を括弧書きで表示した。

表 I - 7 各物質の地点別年平均濃度④

測定主体	地点区分	測定地点の名称	その他の優先取組物質							優先取組物質以外の物質					その他 浮遊 粉じん	
			酸化 エチレン	トルエン	ベンジウム 及び その 化合物	ベンジ [a] ピレン	ホルム アルデヒド*	クロム及び その 化合物	クロム及び 三価クロム 化合物	六価クロム 化合物	亜鉛 及び その 化合物	カドミウム 及び その 化合物	キリン類	鉛及び その 化合物		ハニウム 及び その 化合物
			µg/m ³	µg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	µg/m ³	ng/m ³	µg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	µg/m ³	ng/m ³		ng/m ³
川越市	全国標準監視地点	川越測定局	0.052	7.7	0.025	0.074	2.9	8.0	0.42	7.7			1.9			
			0.066	7.4	0.011	0.097	3.0	4.6					1.2			
	全国標準監視地点	高階測定局	0.061	6.8	0.026	0.083	3.5	1.6	0.11	1.5			2.0			
			0.064	6.8	0.012	0.12	2.8	1.7					1.3			
	地域特設監視地点	仙波測定局		6.9		0.075	2.8						2.0			
			7.0		0.092	3.0						1.3				
川口市	全国標準監視地点	南平測定局	0.082	40	0.010	0.14	3.1	4.6	0.48	4.1						
			0.090	31	0.018	0.15	2.9	5.8								
	地域特設監視地点	芝測定局	0.078	5.9	0.012	0.10	2.9	3.1	0.31	2.8						
			0.087	6.9	0.033	0.13	4.2	4.2								
	地域特設監視地点	石神配水場			0.010	0.12	2.8	2.7	0.44	2.3						
				0.018	0.13	2.8	3.4									
所沢市	全国標準監視地点	北野測定局	0.052	5.6	0.0046	0.076	2.5	1.4	0.14	1.3	23	0.047	1.1	3.0	0.83	
			0.067	6.9	0.0070	0.077	2.7	1.2			22	0.070	1.3	3.1	0.91	
	地域特設監視地点	和ヶ原測定局		7.0		0.089	2.6					1.4				
				8.2		0.094	2.9					1.4				
越谷市	全国標準監視地点	東越谷測定局	0.062	7.0	0.0051	0.066	2.9	13	8.3	4.9			0.95			
			0.076	8.0	0.0045	0.17	3.4	13					1.1			

上段は令和6年度、下段は令和5年度の値
 は、測定未実施

表 I - 8 環境基準達成率の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
ベンゼン	17.40%	43.50%	73.90%	70.80%	95.80%	95.80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(4/23)	(10/23)	(17/23)	(17/24)	(23/24)	(23/24)	(24/24)	(25/25)	(25/25)	(25/25)	(26/26)	(26/26)
トリクロロエチレン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(18/18)	(18/18)	(18/18)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(21/21)	(21/21)
テトラクロロエチレン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(18/18)	(18/18)	(18/18)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(21/21)	(21/21)
ジクロロメタン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(18/18)	(18/18)	(18/18)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(21/21)	(21/21)
(つづき)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ベンゼン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(25/25)	(25/25)	(25/25)	(25/25)	(25/25)	(25/25)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	(22/22)
トリクロロエチレン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(18/18)
テトラクロロエチレン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(18/18)
ジクロロメタン	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(20/20)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(19/19)	(18/18)
(つづき)	R4	R5	R6	上段：環境基準達成率 下段：(達成地点数／測定地点数) (ジクロロメタンの平成10年～12年の 数値は、平成13年4月に設定された環境 基準と比較した場合の参考値)								
ベンゼン	100%	100%	100%									
	(23/23)	(23/23)	(23/23)									
トリクロロエチレン	100%	100%	100%									
	(18/18)	(18/18)	(18/18)									
テトラクロロエチレン	100%	100%	100%									
	(18/18)	(18/18)	(18/18)									
ジクロロメタン	100%	100%	100%									
	(18/18)	(18/18)	(18/18)									

表 I - 9 国内外の環境基準、指針値等

物質名	基準値等 <small>(※ 評価は、年平均値との比較で行う。)</small>			
	環境基準 (*1)	指針値 (*2)	EPA (*3)	WHO (*4)
ベンゼン	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	1.3~4.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
テトラクロロエチレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ジクロロメタン	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—	3000 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
アクリロニトリル	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化ビニルモノマー	—	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化メチル	—	94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—
クロロホルム	—	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
1,2-ジクロロエタン	—	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	700 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
1,3-ブタジエン	—	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
アセトアルデヒド	—	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
ホルムアルデヒド	—	—	0.9 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ベンゾ[a]ピレン	—	—	—	0.12 ng/m^3
水銀及びその化合物	—	40 ng/m^3	—	1000 ng/m^3
ニッケル化合物	—	25 ng/m^3	40 ng/m^3	25 ng/m^3
ヒ素及びその化合物	—	6 ng/m^3	2 ng/m^3	6.6 ng/m^3
ベリリウム及びその化合物	—	—	4 ng/m^3	—
マンガン及びその化合物	—	140 ng/m^3	—	0.15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
六価クロム化合物	—	—	0.5 ng/m^3	0.25 ng/m^3

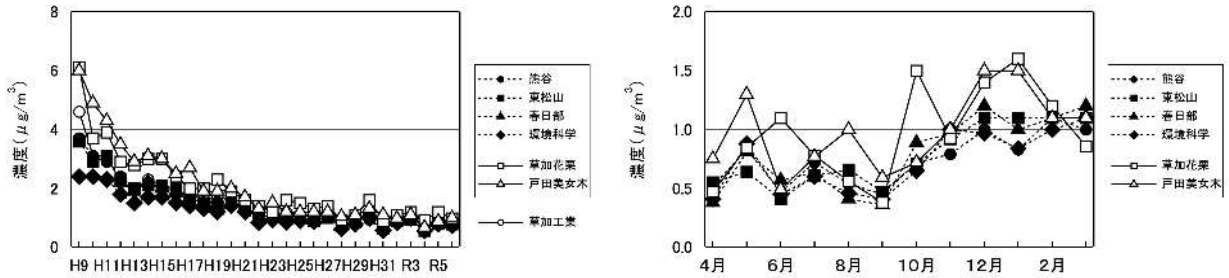
- *1 人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準
(環境基本法第16条第1項)
- *2 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値
(中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について(第7・8・9・10・11・12次答申)」)
- *3 EPA(米国環境保護庁)が設定したユニットリスクに基づく 10^{-5} リスクレベル換算値
(EPA ホームページ Integrated Risk Information System (IRIS))
- *4 WHO(世界保健機関)欧州地域事務局のガイドライン値あるいは 10^{-5} リスクレベル換算値
(Air Quality Guidelines for Europe Second Edition(2000))
ジクロロメタン及び1,2-ジクロロエタンは一日平均値で評価
ホルムアルデヒドは30分平均値で評価

(参考：県実施調査の詳細)

以下、県が測定を行っている物質ごとの経年変化及び経月変化をグラフで示し、調査結果を概説する。同類の物質は類似した変動を示すことが多いため、分類ごとに示す。令和3年度から秩父と草加工業での測定は廃止されたが、参考値として経年変化のグラフに掲載する。

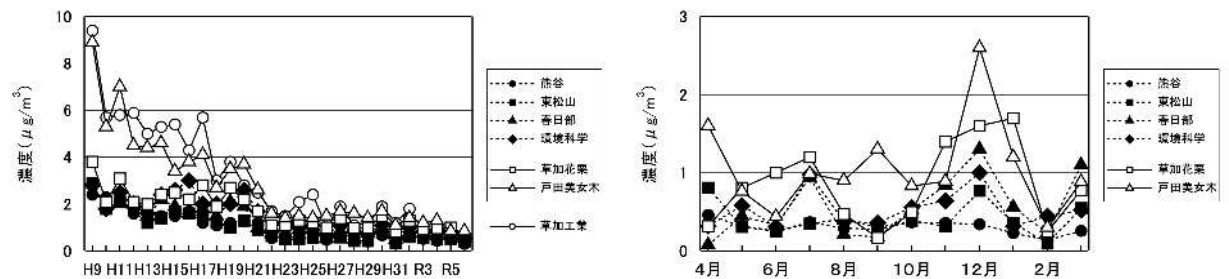
揮発性有機化合物 (VOCs)

(1) ベンゼン



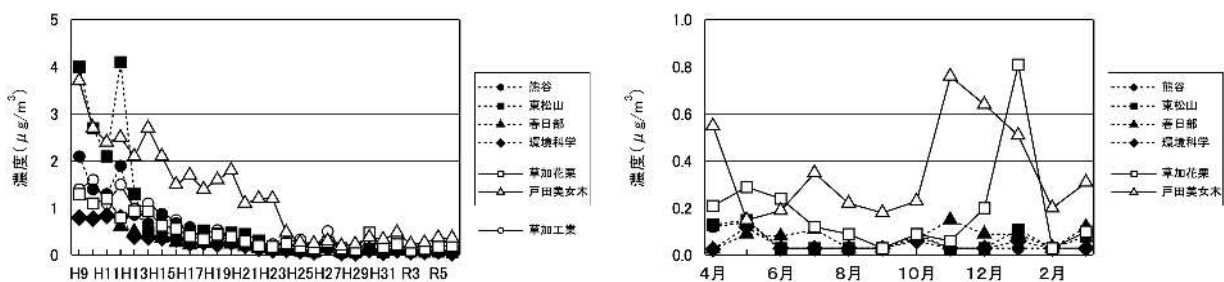
全ての地点で環境基準(3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$) の1/2前後か、それを下回る濃度であった。長期的に続いていた濃度の低下傾向が、近年は鈍化し、ほぼ横ばいで推移している。平成15年度までは環境基準値付近で変動していた沿道2地点においても、現在は一般環境に近い濃度となっている。ベンゼンは自動車排出ガスが主な発生源と考えられ、長期的な低下傾向は燃料対策等の効果が表れた結果と考えられる。令和6年度は令和5年度と比べると、春日部と環境科学で濃度が低下、戸田美女木で濃度がやや上昇、それ以外の3地点で濃度は横ばいであった。月変化では、ややばらつきがあるものの、多くの地点で4月から9月にかけて低濃度が見られ、以降は上昇に転じるなど、年間を通じて類似した濃度変動が見られた。

(2) トリクロロエチレン



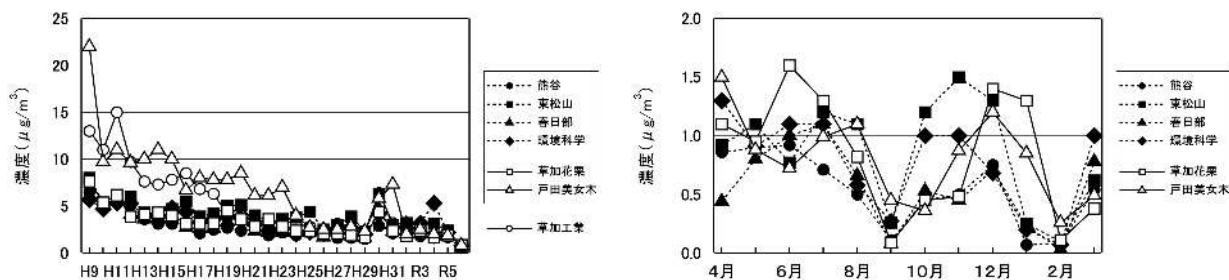
全ての地点で環境基準(130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$) の1/50前後か、それを下回る濃度であった。長期的な濃度の低下傾向は、平成21年度から鈍化し、近年はほぼ横ばいで推移している。令和6年度は令和5年度と比べると、やや濃度が上昇した戸田美女木以外は、全ての地点で濃度が低下した。月変化では、ばらつきがあるものの、多くの地点で2月に低濃度、7月、11月、12月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(3) テトラクロロエチレン



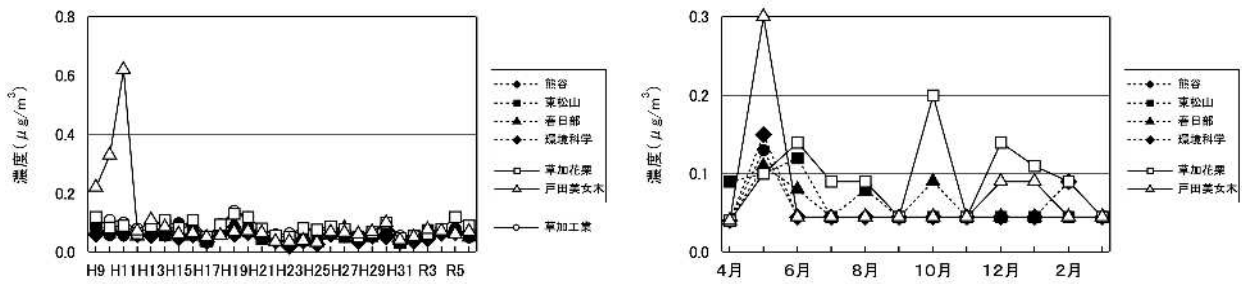
全ての地点で環境基準(200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/250前後か、それを下回る濃度であった。かつて高濃度であった東松山で平成14年度に、同様に高濃度であった戸田美女木で平成24年度に他地点と同程度まで低下して以降、濃度は横ばいないしは微増傾向で推移している。令和6年度は令和5年度と比べると、草加花栗や戸田美女木で濃度は横ばい、それ以外の4地点で濃度は低下した。月変化を見ると、これら4地点では検出下限を下回る月が多かったが、4月、5月、1月には多くの地点で比較的高濃度が見られるなど、ほぼ同様の濃度変動を示した。

(4) ジクロロメタン



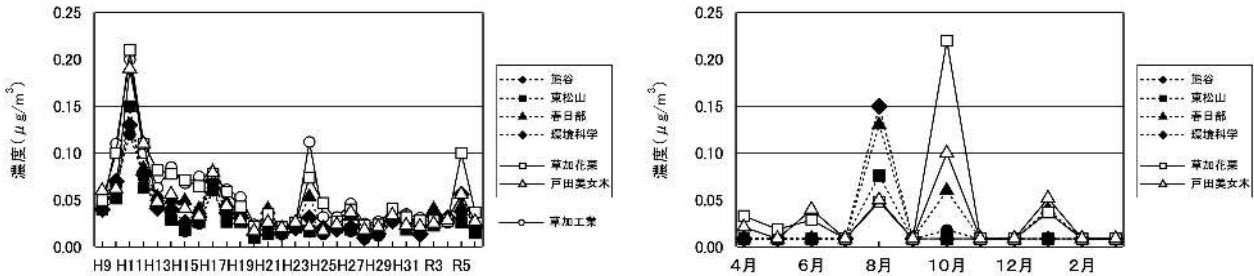
全ての地点で環境基準(150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/100前後か、それを下回る濃度であった。平成30年度、令和元年度と、一時的な濃度の上昇により、長期的に続いていた濃度の低下傾向が途絶えた地点も見られたが、令和2年度以降はそれ以前の状況まで戻っている。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で大幅に濃度が低下した。月変化を見ると、多くの地点で9月、1月、2月に低濃度、4月から7月にかけて、また12月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(5) アクリロニトリル



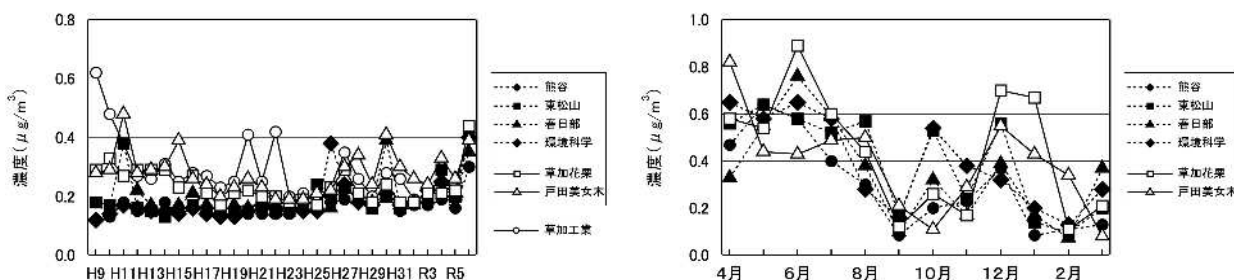
全ての地点で指針値 ($2 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の 1/7 前後か、それを下回る濃度であった。平成 12 年度から濃度は全ての地点ではほぼ横ばい傾向が続いている。令和 6 年度は令和 5 年度と比べると、熊谷、春日部、草加花栗で濃度が低下、戸田美女木で濃度が上昇、それ以外の地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、地点間のばらつきが大きく、また多くの地点で検出下限を下回る月が多かったが、多くの地点で 5 月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動を示した。

(6) 塩化ビニルモノマー



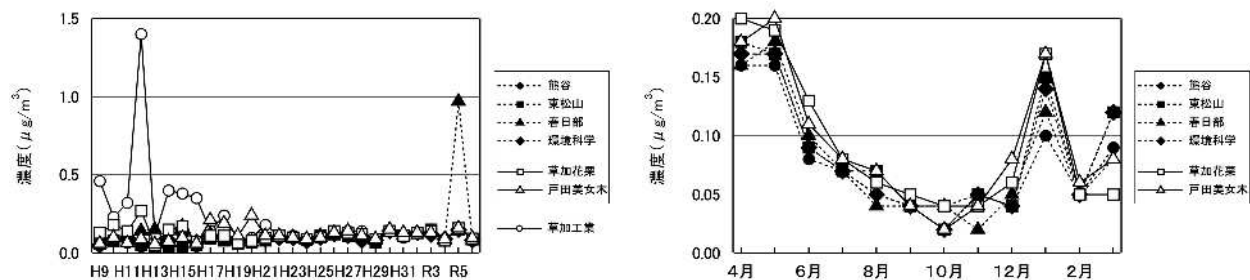
全ての地点で指針値 ($10 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の 1/45 前後か、それを下回る濃度であった。濃度は平成 11 年度まで上昇し、それ以降は長期的に低下傾向が続いていたが、近年は増減を繰り返している。令和 5 年度は、特に草加花栗で高濃度が見られ、年平均値が押し上げられたが、令和 6 年度は全ての地点で令和 5 年度に比べて濃度が低下した。月変化では、多くの地点で検出下限を下回る月が多かったが、8 月や 10 月に多くの地点で高濃度が見られるなど、概ね類似した濃度変動を示した。

(7) クロロホルム



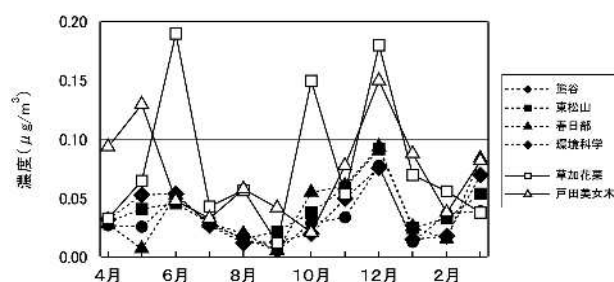
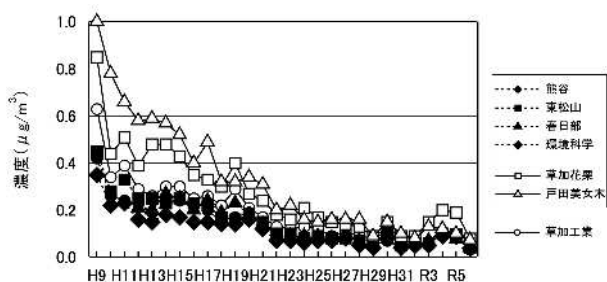
全ての地点で指針値（ $18 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ）の1/20前後か、それを下回る濃度であった。年度によって、地点間のばらつきが大きく、濃度は平成21年度頃から増減を繰り返しながら推移している。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が上昇した。月変化では、地点間のばらつきは比較的小さく、多くの地点で9月、1月、2月に低濃度、4月から7月にかけて高濃度が見られるなど、概ね全ての地点で同様の濃度変動を示した。

(8) 1,2-ジクロロエタン



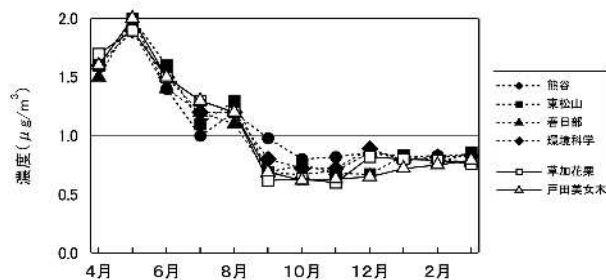
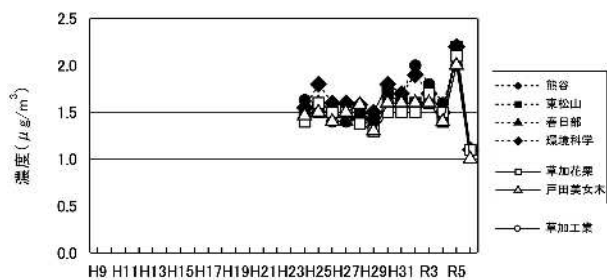
全ての地点で指針値（ $1.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ）の1/8以下の濃度であった。しばしば他の地点と比べて高濃度であった草加工業で平成17年度に濃度が低下して以降、ほぼ横ばいで推移しており、地点間の濃度差もほとんど見られない。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。令和5年度に原因不明の大幅な濃度上昇が見られた春日部でもそれ以前の状況に戻っている。月変化では、地点間の濃度差は比較的小さく、4月、5月、1月に高濃度が見られるなど、全ての地点で同様の濃度変動が見られた。

(9) 1,3-ブタジエン



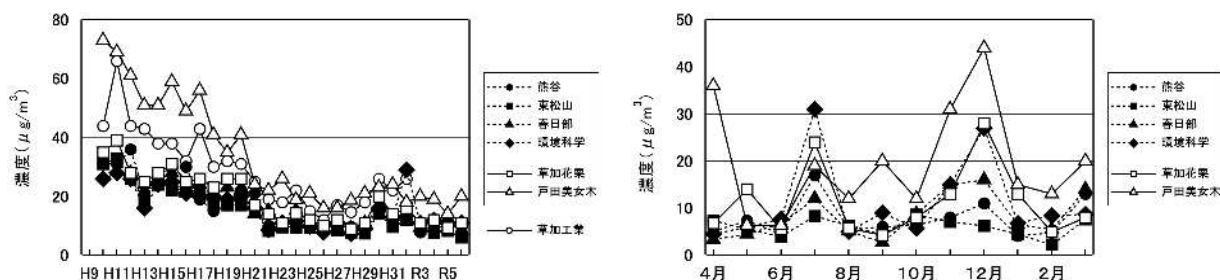
全ての地点で指針値(2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/30前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、濃度の低下傾向が続いてきたが、近年は増減しながら推移している。この物質もベンゼン同様、自動車排出ガスが主な発生源とされ、沿道ではやや高濃度傾向が見られる。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。月変化では、多くの地点で8月、9月、1月、2月に低濃度、6月、11月、12月、3月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(10) 塩化メチル



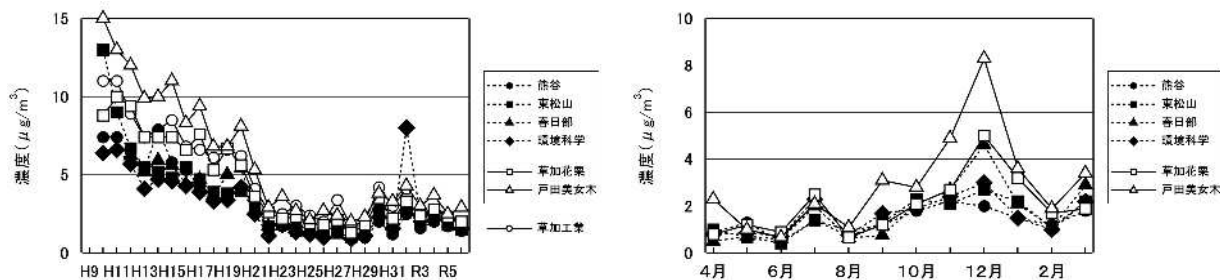
全ての地点で指針値(94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/45前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、全ての地点において、年平均で1.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 前後で推移しており、地点間の濃度差はそれほど大きくない。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が大幅に低下した。月変化では、全ての地点で4月から8月にかけて高濃度、9月以降は低濃度が見られるなど、基本的な濃度変動の推移はほぼ同様であった。

(11) トルエン



平成26年度を境に、長期的な濃度の低下傾向が微増傾向に転じ、その後は増減を繰り返しながら推移してきたが、近年はほぼ横ばいという状況で推移している。調査開始以来、戸田美女木と草加工業が他の地点と比べて高濃度で推移してきた。令和2年度は環境科学で庁舎修繕（防水工事、塗装）に伴う溶剤使用の影響と考えられる高濃度が見られ、これら2地点を上回ったが、令和3年度以降は以前の状況まで戻っている。令和6年度は令和5年度と比べると、熊谷、東松山、春日部で濃度が低下、草加花栗、戸田美女木で濃度が上昇、環境科学で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、ややばらつきは見られるが、7月、11月、12月には多くの地点で高濃度が見られ、それ以外の月は比較的low濃度で推移するなど、類似した濃度変動が見られた。

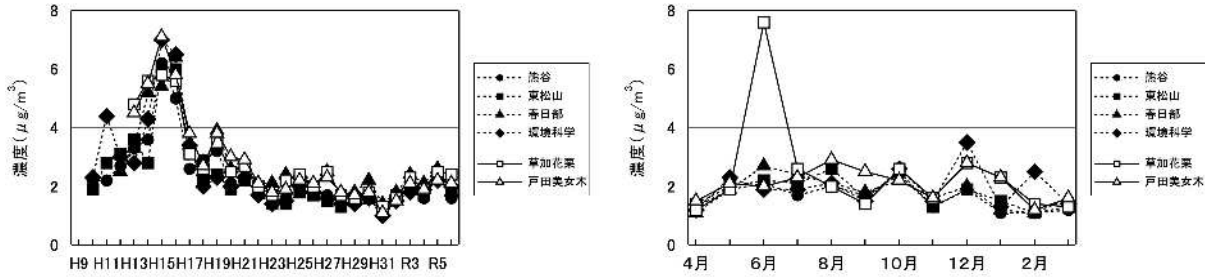
(12) キシレン類



調査開始以来続いてきた長期的な濃度の低下傾向は、平成28年度を境に上昇に転じ、その後は増減を繰り返しながら推移している。トルエン同様、令和2年度に環境科学で庁舎修繕（防水工事、塗装）に伴う溶剤使用の影響と考えられる高濃度が見られたが、令和3年度以降は以前の状況まで戻っている。令和6年度は令和5年度と比べると、戸田美女木で濃度が上昇したが、それ以外の地点で濃度が低下した。月変化を見ると、4月から6月、8月に低濃度、10月から1月、3月に高濃度が見られるなど、概ね全ての地点で同様の濃度変動が見られた。

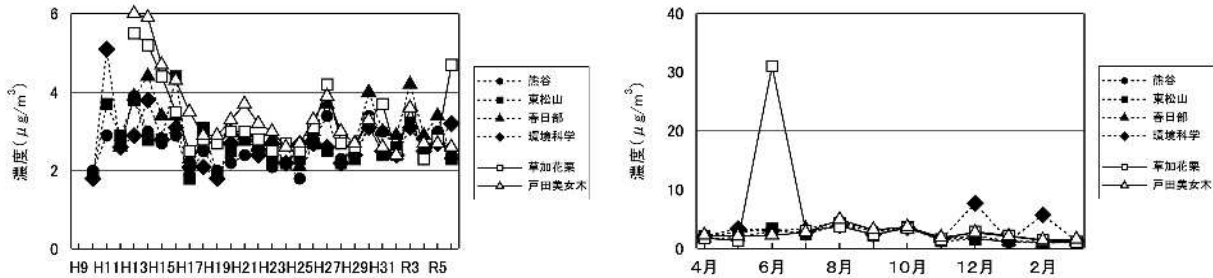
アルデヒド類

(13) アセトアルデヒド



全ての地点で指針値 ($120 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を下回っていた。平成15年度以降、濃度は低下傾向を示した後、平成21年度からは概ね横ばい傾向を示している。令和5年度と比べると、全ての地点で濃度は減少した。月変化では、6月の草加花栗において周囲の樹木伐採の影響により高濃度 ($7.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$) が見られたが、その他の地点では概ね同様の濃度変動であった。

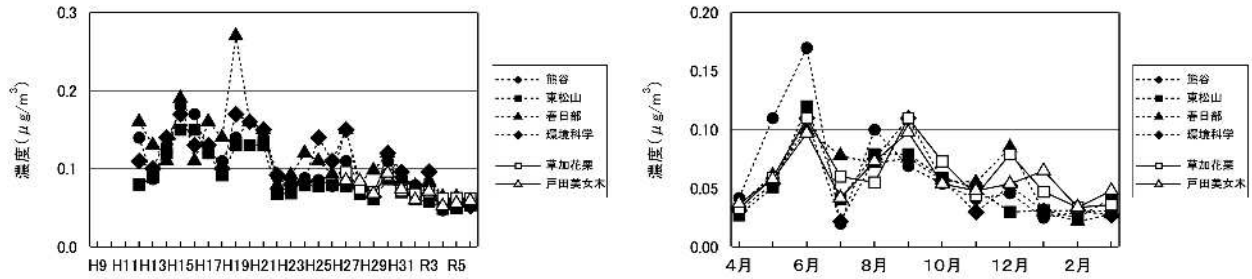
(14) ホルムアルデヒド



全ての地点でEPAリスク換算値 ($0.9 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を超え、測定値はその2.6~5.2倍の範囲にある。平成17年度頃までは濃度は低下傾向で推移し、特に沿道の草加花栗と戸田美女木ではそれが顕著であった。その後、濃度は横ばいまたは微増傾向を示し、令和6年度は草加花栗で以下に示す理由により大きく上昇した。令和6年度は令和5年度と比べると、環境科学と草加花栗の2地点で上昇した。月変化では、6月の草加花栗において周囲の樹木伐採の影響により高濃度 ($31 \mu\text{g}/\text{m}^3$) が見られた。上述した草加花栗の年平均値の上昇はこれによるものである。12月と2月に環境科学で高濃度であった。

酸化エチレン

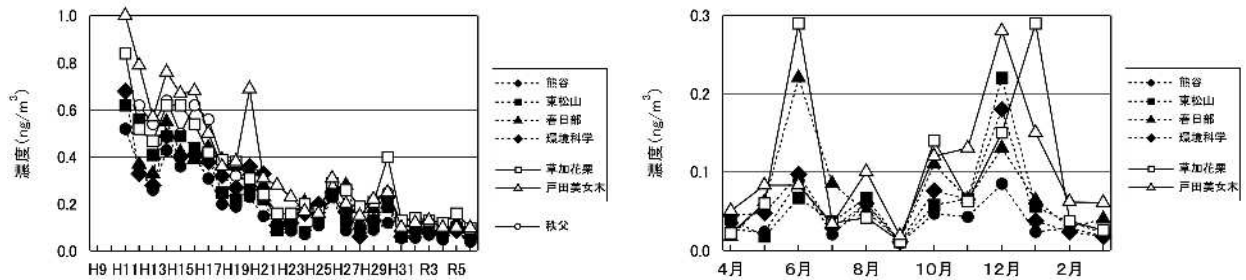
(15) 酸化エチレン



平成22年度以降、全体的に低濃度で推移しており、平成27年度から調査地点に加わった沿道の2地点でも同様の傾向が見られた。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点でほぼ横ばいであった。月変化では、6月、9月に高濃度となる地点がみられ、2月は全ての地点で低濃度であった。

ベンゾ[a]ピレン

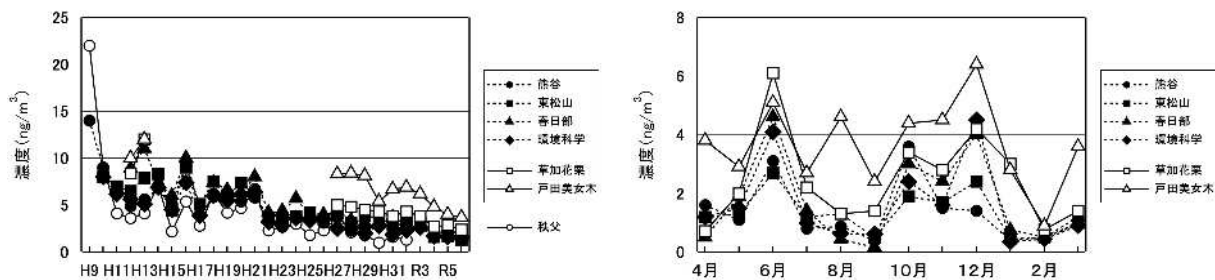
(16) ベンゾ[a]ピレン



各地点の年平均値をWHOガイドライン値 ($0.12 \text{ ng}/\text{m}^3$) と比べると、いずれの地点も下回った。令和6年度は令和5年度と比べると、戸田美女木ではほぼ同じだったが、他の地点は低下した。ただ、経年変化全体で見れば低い濃度レベルである。月変化を見ると、6月と1月に濃度が高い地点が見られ、12月に全体的に濃度が高かった。

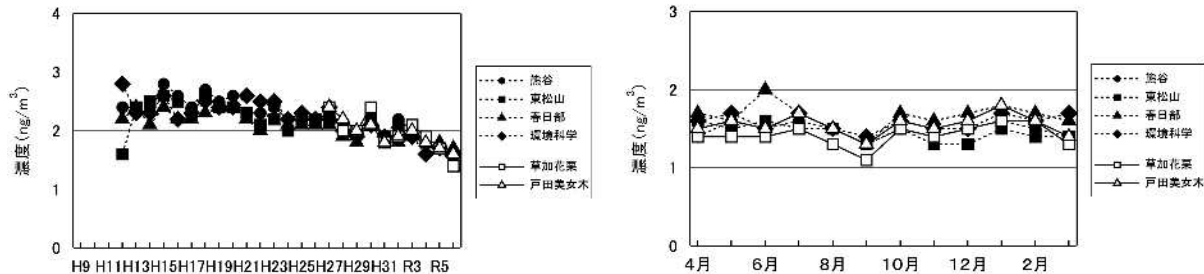
重金属類

(17) クロム及びその化合物



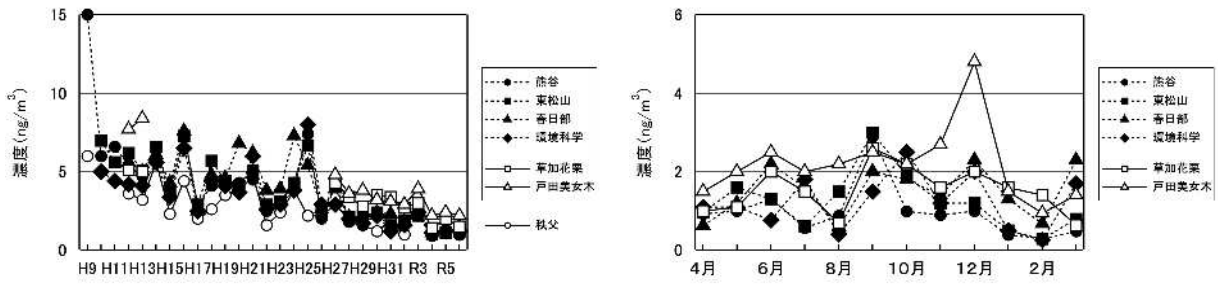
令和6年度は令和5年度と比べると全ての地点で同程度あるいは低下した。一般環境と比べて沿道の2地点は濃度が高く、とくに戸田美女木の濃度が高かった。月変化を見ると、全体的に6月と12月に濃度が上昇した。戸田美女木では他地点と異なる変動が見られ、4月、8月、3月にも比較的高い濃度が見られた。

(18) 水銀及びその化合物



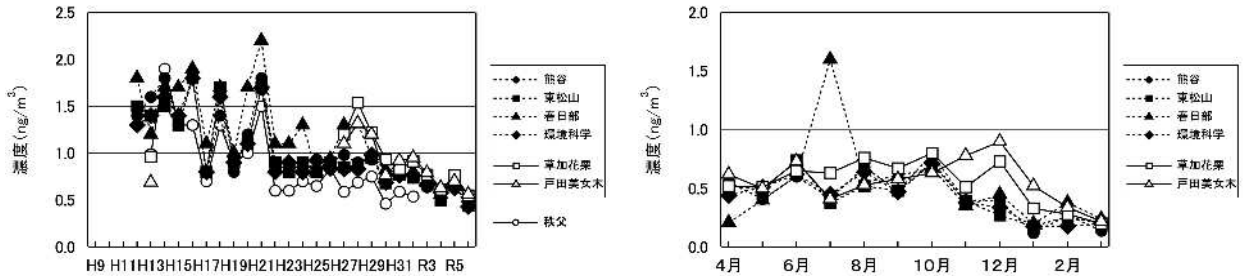
全ての地点で指針値 (40 ng/m³) の1/20を下回る濃度であった。令和6年度は令和5年度と比べると全ての地点で低下した。一般環境と沿道で差は見られなかった。最大値は6月の春日部、最小値は草加花栗の9月であった。9月は全ての地点で濃度が最も低かった。全体的に季節による濃度変動は少なく、地点間の濃度差も小さかった。

(19) ニッケル化合物



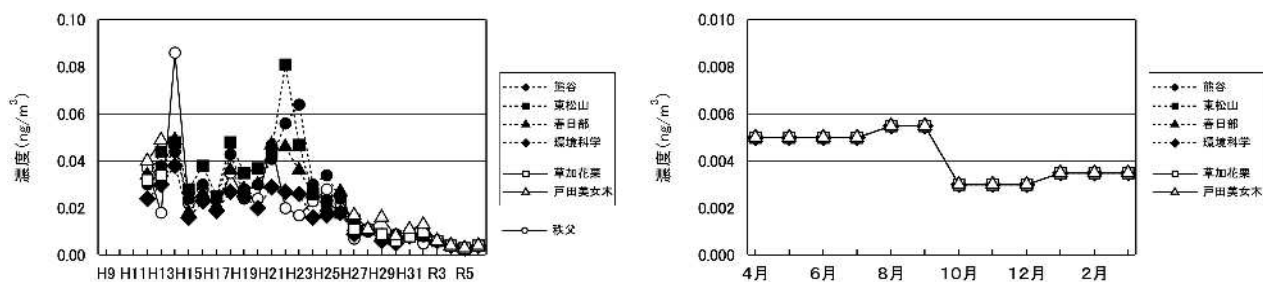
全ての地点で指針値 (25 ng/m³) の 1/10 以下の濃度であった。令和 6 年度は令和 5 年度と比べると、全ての地点で同程度あるいは低下した。濃度としては戸田美女木が最大であった。月変化を見ると、熊谷、東松山、草加花栗では 9 月、環境科学では 10 月、春日部、戸田美女木では 12 月に各地点の最大値となった。とくに 12 月は草加花栗で他地点を大きく上回る濃度が見られた。

(20) ヒ素及びその化合物



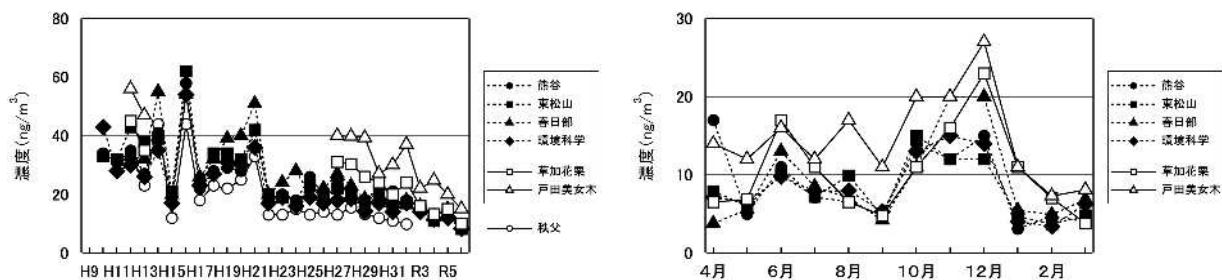
全ての地点で指針値 (6 ng/m³) の 1/10 以下の濃度であった。令和 6 年度は令和 5 年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。一般環境と沿道の濃度差はないが、わずかに沿道の方が高かった。月変化を見ると、7 月に春日部で他地点を大きく上回る濃度が見られた。11 月、12 月、1 月は一般環境と比較して沿道でわずかに濃度が高かった。

(21) ベリリウム及びその化合物



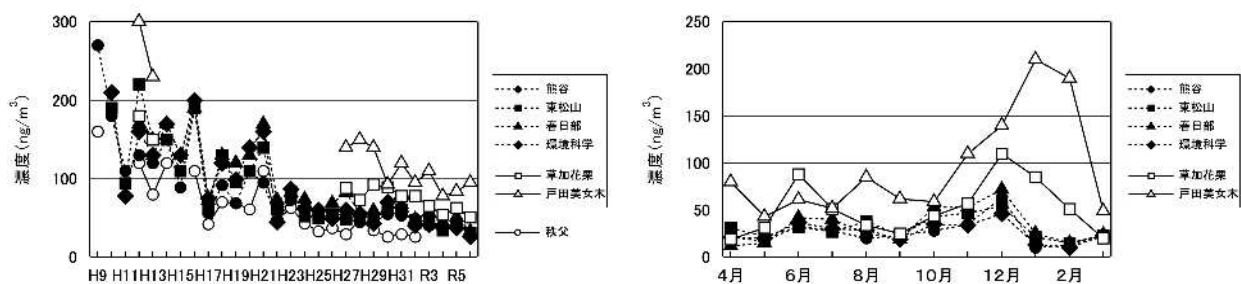
全ての地点でEPAリスク換算値(4 ng/m³)の1/1000の濃度であった。令和6年度は、全ての地点の月別濃度が検出下限値未満であったため、濃度の増減については評価できない。同じ理由により、地点間の濃度差が見られなかった。

(22) マンガン及びその化合物



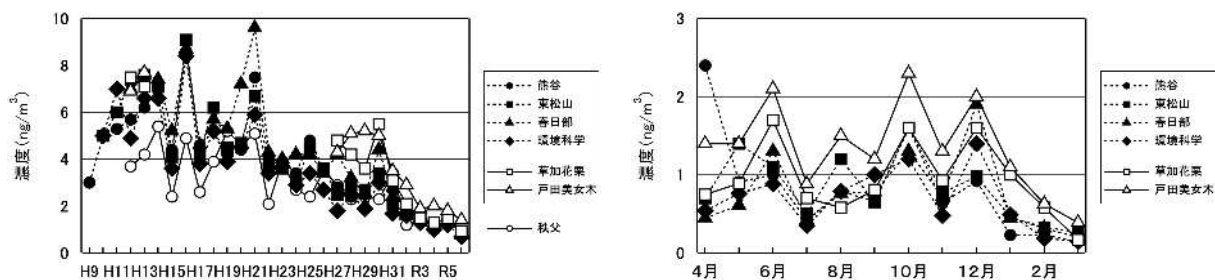
全ての地点で指針値(140 ng/m³)の1/9以下の濃度であった。令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で低下した。月変化を見ると、戸田美女木の濃度が他地点よりも高い傾向で、12月に最大値が見られた。12月は草加花栗と春日部でも比較的高い濃度が見られた。熊谷、東松山、環境科学の濃度変動は概ね類似していたが、4月の熊谷のみ他地点を上回る濃度が見られた。

(23) 亜鉛及びその化合物



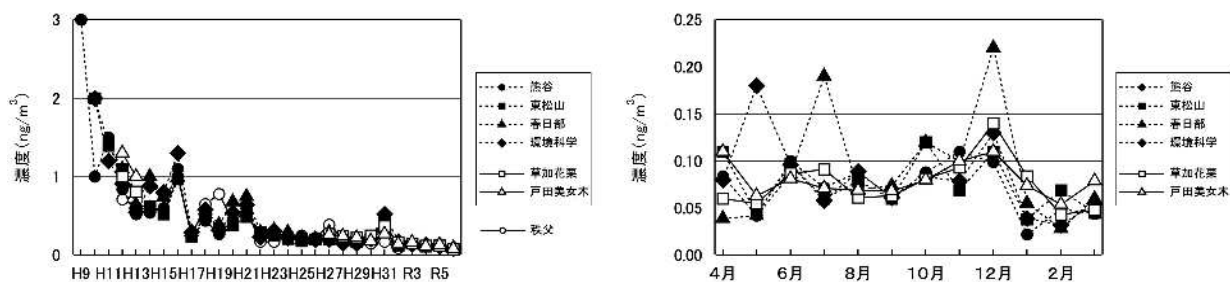
令和6年度は令和5年度と比べると、戸田美女木はわずかに上昇したが、それ以外は低下した。一般環境と比べて沿道の2地点は濃度が高く、とくに戸田美女木の濃度が高かった。月変化を見ると、11月から2月にかけて戸田美女木と草加花栗で比較的高い濃度が見られた。沿道2地点と比較すると、一般環境での濃度変動は類似していた。

(24) バナジウム及びその化合物



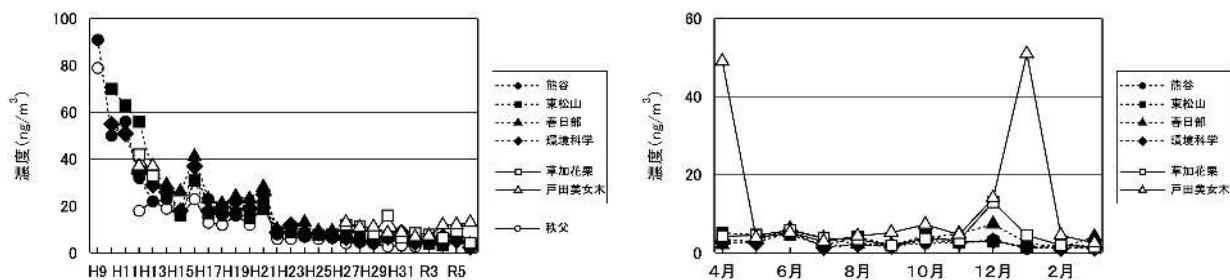
令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。月変化を見ると、6月、10月、12月に濃度が高くなる傾向で、戸田美女木が最も高い濃度であった。地点間で概ね濃度変動の傾向が類似していたものの、4月の熊谷のみ他地点を上回る濃度が見られた。

(25) カドミウム及びその化合物



令和6年度は令和5年度と比べると、全ての地点で濃度が低下した。年平均値の地点差はほとんどなく、沿道と一般環境の濃度差はほとんどなかった。月変化をみると、地点間で傾向は類似していたが、5月に環境科学、7月と12月に春日部で、他地点を大きく上回る濃度が見られた。

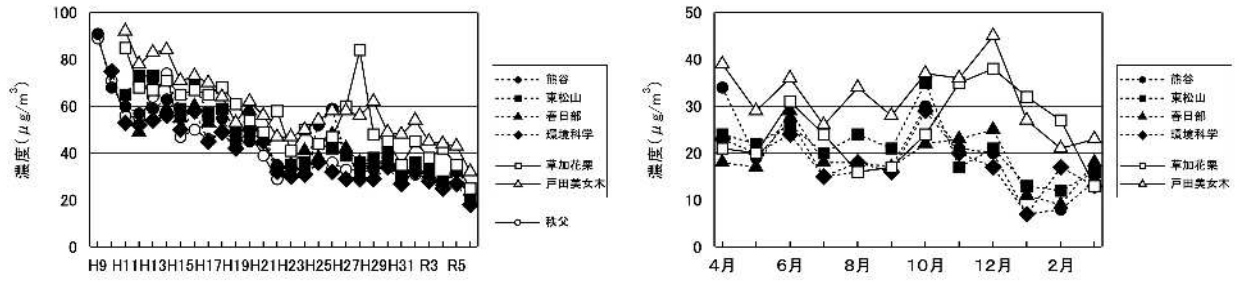
(26) 鉛及びその化合物



令和6年度は令和5年度と比べると、戸田美女木は同等、それ以外は濃度が低下した。戸田美女木は他地点よりも濃度が高かった。月変化を見ると、4月と1月に戸田美女木で他地点を大きく上回る濃度が見られた。その他の地点についてはほぼ同様の変動であった。

浮遊粉じん

(27) 浮遊粉じん



調査開始以来の低下傾向から、平成23年度以降はわずかに上昇傾向を示していたが、平成27年度から平成28年度は再び低下傾向を示す地点が多くなった。その後は小さな上昇と低下を繰り返しながら、全般的には横ばいあるいは微減傾向となっている。令和6年度は令和5年度に比べて全般に低下した。月変化では、各地点の濃度変動は概ね類似しているが、沿道である戸田美女木及び草加花栗がやや高い傾向を示した。

表 I - 10 有害大気汚染物質の調査結果 (県調査地点)

(1) ベンゼン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.52	0.55	0.38	0.41	0.47	0.75
5月	0.83	0.64	0.81	0.88	0.85	1.3
6月	0.47	0.41	0.57	0.45	1.1	0.49
7月	0.72	0.61	0.63	0.60	0.78	0.77
8月	0.54	0.66	0.41	0.46	0.56	1.0
9月	0.45	0.47	0.36	0.41	0.38	0.59
10月	0.72	0.71	0.89	0.65	1.5	0.72
11月	0.79	0.92	0.97	1.0	0.93	1.0
12月	1.0	1.1	1.2	0.97	1.4	1.5
1月	0.83	1.1	1.0	0.84	1.6	1.5
2月	1.1	1.1	1.1	1.0	1.2	1.1
3月	1.0	1.1	1.2	1.1	0.86	1.1
最大値	1.1	1.1	1.2	1.1	1.6	1.5
最小値	0.45	0.41	0.36	0.41	0.38	0.49
平均値	0.75	0.78	0.79	0.73	0.97	0.98

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(2) トリクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.46	0.81	0.08 *	0.32	0.32	1.6
5月	0.32	0.31	0.45	0.58	0.81	0.76
6月	0.26	0.25	0.33	0.31	1.0	0.44
7月	0.37	0.35	0.94	0.98	1.2	0.99
8月	0.29	0.41	0.21	0.38	0.47	0.90
9月	0.28	0.30	0.18	0.36	0.17	1.3
10月	0.37	0.39	0.53	0.56	0.50	0.83
11月	0.36	0.32	0.84	0.64	1.4	0.89
12月	0.34	0.77	1.3	1.0	1.6	2.6
1月	0.23	0.36	0.56	0.32	1.7	1.2
2月	0.14	0.099	0.23	0.45	0.25	0.30
3月	0.26	0.55	1.1	0.52	0.78	0.88
最大値	0.46	0.81	1.3	1.0	1.7	2.6
最小値	0.14	0.099	0.08	0.31	0.17	0.30
平均値	0.31	0.41	0.56	0.54	0.85	1.1

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(3) テトラクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.12 *	0.13 *	0.025 ND	0.025 ND	0.21	0.55
5月	0.14 *	0.15 *	0.09 *	0.12 *	0.29	0.15 *
6月	0.03 ND	0.03 ND	0.08 *	0.03 ND	0.24	0.19
7月	0.03 ND	0.03 ND	0.11 *	0.03 ND	0.12 *	0.35
8月	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.09 *	0.22
9月	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.18 *
10月	0.08 *	0.09 *	0.07 *	0.06 *	0.09 *	0.23
11月	0.03 ND	0.03 ND	0.15 *	0.03 ND	0.06 *	0.76
12月	0.03 ND	0.03 ND	0.09 *	0.03 ND	0.20	0.64
1月	0.03 ND	0.11 *	0.09 *	0.06 *	0.81	0.51
2月	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.03 ND	0.20
3月	0.03 ND	0.08 *	0.12 *	0.03 ND	0.10 *	0.31
最大値	0.14	0.15	0.15	0.12	0.81	0.76
最小値	<0.06	<0.06	<0.05	<0.05	<0.06	0.15
平均値	0.05	0.06	0.08	0.04	0.19	0.36

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(4) ジクロロメタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.86	0.92	0.44	1.3	1.1	1.5
5月	0.90	1.1	0.80	0.91	0.95	0.88
6月	0.92	0.77	1.0	1.1	1.6	0.72
7月	0.71	1.2	1.1	1.1	1.3	0.99
8月	0.50	1.1	0.66	0.58	0.82	1.1
9月	0.11 *	0.26	0.08 *	0.27	0.09 *	0.45
10月	0.45	1.2	0.53	1.0	0.45	0.36
11月	0.50	1.5	0.45	1.0	0.48	0.87
12月	0.75	1.3	0.71	0.68	1.4	1.2
1月	0.07 *	0.25	0.23	0.20 *	1.3	0.85
2月	0.08 *	0.10 *	0.03 ND	0.07 *	0.11 *	0.26
3月	0.54	0.62	0.78	1.0	0.38	0.49
最大値	0.92	1.5	1.1	1.3	1.6	1.5
最小値	0.07	0.10	<0.06	0.07	0.09	0.26
平均値	0.53	0.86	0.57	0.77	0.83	0.81

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , : 二重測定との平均

(5) アクリロニトリル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.04 ND	0.09 *	0.04 ND	0.04 ND	0.04 ND	0.04 ND
5月	0.13 *	0.10 *	0.11 *	0.15 *	0.10 *	0.30
6月	0.045 ND	0.12 *	0.08 *	0.045 ND	0.14 *	0.045 ND
7月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.09 *	0.045 ND
8月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.09 *	0.045 ND
9月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND
10月	0.045 ND	0.045 ND	0.09 *	0.045 ND	0.20 *	0.045 ND
11月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND
12月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.14 *	0.09 *
1月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.11 *	0.09 *
2月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.09 *	0.09 *	0.045 ND
3月	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND	0.045 ND
最大値	0.13	0.12	0.11	0.15	0.20	0.30
最小値	<0.08	<0.09	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
平均値	0.05	0.06	0.05	0.06	0.09	0.07

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , : 二重測定との平均

(6) 塩化ビニルモノマー

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.033 *	0.021 *
5月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.019 *	0.009 ND
6月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.029 *	0.040 *
7月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
8月	0.15	0.076	0.13	0.15	0.048 *	0.050 *
9月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
10月	0.018 *	0.009 ND	0.060	0.009 ND	0.22	0.10
11月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
12月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
1月	0.009 ND	0.009 ND	0.040 *	0.009 ND	0.037 *	0.052 *
2月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
3月	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND	0.009 ND
最大値	0.15	0.076	0.13	0.15	0.22	0.10
最小値	<0.018	<0.018	<0.018	<0.018	<0.018	<0.018
平均値	0.022	0.015	0.026	0.021	0.037	0.027

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , : 二重測定との平均

(7) クロロホルム

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.47	0.56	0.33 *	0.65	0.58	0.82
5月	0.64	0.64	0.55	0.58	0.54	0.44
6月	0.58	0.58	0.76	0.65	0.89	0.43
7月	0.40	0.52	0.59	0.58	0.60	0.49
8月	0.30	0.57	0.38	0.28	0.44	0.50
9月	0.084	0.17	0.097	0.16	0.12	0.21
10月	0.20	0.53	0.32	0.54	0.26	0.11
11月	0.23	0.24	0.17	0.38	0.17	0.29
12月	0.37	0.56	0.39	0.32	0.70	0.55
1月	0.084	0.14	0.17	0.20	0.67	0.43
2月	0.11	0.096	0.072 *	0.13	0.11	0.34
3月	0.13	0.20	0.37	0.28	0.21	0.080 *
最大値	0.64	0.64	0.76	0.65	0.89	0.82
最小値	0.084	0.096	0.072	0.13	0.11	0.080
平均値	0.30	0.40	0.35	0.40	0.44	0.39

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(8) 1,2-ジクロロエタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.16	0.18	0.16	0.17	0.20	0.18
5月	0.16	0.17	0.18	0.17	0.19	0.20
6月	0.08 *	0.09 *	0.10 *	0.09 *	0.13	0.11 *
7月	0.07 *	0.07 *	0.07 *	0.07 *	0.08 *	0.08 *
8月	0.05 *	0.07 *	0.04 *	0.05 *	0.06 *	0.07 *
9月	0.04 *	0.04 *	0.04 *	0.04 *	0.05 *	0.04 *
10月	0.04 *	0.02 ND	0.04 *	0.02 ND	0.04 *	0.02 ND
11月	0.05 *	0.05 *	0.02 ND	0.05 *	0.04 *	0.04 *
12月	0.04 *	0.04 *	0.05 *	0.04 *	0.06 *	0.08 *
1月	0.10 *	0.15	0.12 *	0.14	0.17	0.17
2月	0.05 *	0.05 *	0.05 *	0.05 *	0.05 *	0.06 *
3月	0.09 *	0.12 *	0.08 *	0.12 *	0.05 *	0.08 *
最大値	0.16	0.18	0.18	0.17	0.20	0.20
最小値	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.04	<0.04
平均値	0.078	0.088	0.079	0.084	0.093	0.094

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(9) 1,3-ブタジエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.027 *	0.030 *	0.028 *	0.032 *	0.033 *	0.094
5月	0.026 *	0.041 *	0.007 ND	0.053	0.065	0.13
6月	0.052	0.046	0.053	0.054	0.19	0.048
7月	0.028 *	0.029 *	0.029 *	0.027 *	0.043	0.033 *
8月	0.016 *	0.015 *	0.020 *	0.012 *	0.057	0.058
9月	0.0055 ND	0.022 *	0.0055 ND	0.013 *	0.012 *	0.042
10月	0.029 *	0.038 *	0.055	0.020 *	0.15	0.021 *
11月	0.034 *	0.059	0.061	0.050	0.054	0.078
12月	0.078	0.092	0.094	0.076	0.18	0.15
1月	0.013 *	0.025 *	0.026 *	0.015 *	0.070	0.088
2月	0.037 *	0.033 *	0.015 *	0.018 *	0.056	0.038
3月	0.039	0.054	0.084	0.070	0.038	0.082
最大値	0.078	0.092	0.094	0.076	0.19	0.15
最小値	<0.011	0.015	<0.011	0.012	0.012	0.021
平均値	0.032	0.040	0.040	0.037	0.079	0.072

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(10) 塩化メチル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.6	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6
5月	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	2.0
6月	1.4	1.6	1.4	1.5	1.5	1.5
7月	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3
8月	1.2	1.3	1.1	1.2	1.2	1.2
9月	0.98	0.69	0.68	0.80	0.62	0.69
10月	0.80	0.75	0.67	0.72	0.63	0.62
11月	0.82	0.68	0.70	0.72	0.60	0.63
12月	0.86	0.67	0.86	0.89	0.82	0.65
1月	0.82	0.83	0.80	0.79	0.80	0.72
2月	0.83	0.77	0.80	0.82	0.79	0.75
3月	0.84	0.86	0.77	0.83	0.76	0.79
最大値	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	2.0
最小値	0.80	0.67	0.67	0.72	0.60	0.62
平均値	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.0

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(11) トルエン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	5.1	7.4	3.3	4.5	6.8	36
5月	7.3	5.5	4.5	6.0	14	6.3
6月	4.5	3.9	6.7	7.7	5.5	6.3
7月	17	8.3	12	31	24	19
8月	5.5	6.2	5.1	5.0	5.7	12
9月	6.0	4.3	2.7	9.0	4.2	20
10月	6.4	8.6	8.8	5.7	8.0	12
11月	8.0	7.1	15	15	13	31
12月	11	6.2	16	27	28	44
1月	4.1	4.4	6.5	6.8	13	15
2月	4.8	2.2	5.5	8.4	4.9	13
3月	13	7.6	14	8.7	8.0	20
最大値	17	8.6	16	31	28	44
最小値	4.1	2.2	2.7	4.5	4.2	6.3
平均値	7.7	6.0	8.3	11	11	20

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(12) キシレン類

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.9 *	1.0 *	0.5 *	0.8 *	0.8 *	2.3
5月	1.3	0.67	0.73	0.86	1.2	1.0
6月	0.49	0.42	0.58	0.73	0.89	0.68
7月	1.4	1.4	2.0	2.3	2.5	2.1
8月	0.96	0.72	0.64	0.77	0.68	1.1
9月	1.2	1.3	0.76	1.7	1.2	3.1
10月	1.8	2.3	2.1	1.9	2.1	2.8
11月	2.2	2.1	2.7	2.4	2.7	4.9
12月	2.0	2.7	4.6	3.0	5.0	8.3
1月	1.5	2.2	2.1	1.5	3.2	3.6
2月	1.2	1.1	1.1	1.0	1.7	1.9
3月	1.8	2.2	2.9	2.2	1.9	3.4
最大値	2.2	2.7	4.6	3.0	5.0	8.3
最小値	0.49	0.42	0.5	0.73	0.68	0.68
平均値	1.4	1.5	1.7	1.6	2.0	2.9

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(13) アセトアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.3	1.4	1.1	1.2	1.2	1.5
5月	1.9	2.0	1.9	2.3	1.9	2.1
6月	2.1	2.2	2.7	1.9	7.6	2.0
7月	1.7	2.1	2.4	1.9	2.6	2.3
8月	2.0	2.6	2.1	2.1	2.0	2.9
9月	1.7	1.6	1.8	1.5	1.4	2.5
10月	2.4	2.5	2.2	2.6	2.6	2.2
11月	1.3	1.3	1.6	1.5	1.6	1.6
12月	1.9	1.9	2.0	3.5	2.8	2.8
1月	1.1	1.5	1.2	1.3	2.3	2.3
2月	1.1	1.1	1.1	2.5	1.4	1.2
3月	1.2	1.3	1.6	1.4	1.3	1.6
最大値	2.4	2.6	2.7	3.5	7.6	2.9
最小値	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2
平均値	1.6	1.8	1.8	2.0	2.4	2.1

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(14) ホルムアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.0	2.1	1.7	2.1	1.8	2.3
5月	2.9	2.8	1.9	3.4	1.4	2.1
6月	3.4	3.4	3.0	3.1	31	2.3
7月	2.4	2.5	3.4	2.8	3.0	2.8
8月	4.2	4.3	4.7	3.9	3.8	4.9
9月	3.0	2.2	3.0	2.4	2.4	3.2
10月	3.7	3.7	3.4	3.6	3.5	3.7
11月	1.6	1.3	1.7	1.6	1.6	1.9
12月	1.8	1.6	2.2	7.7	2.9	2.7
1月	1.1	1.3	1.3	1.3	2.2	2.1
2月	1.1	1.2	0.92	5.7	1.5	1.4
3月	1.0	1.1	1.2	1.3	1.2	1.6
最大値	4.2	4.3	4.7	7.7	31	4.9
最小値	1.0	1.1	0.92	1.3	1.2	1.4
平均値	2.4	2.3	2.4	3.2	4.7	2.6

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(15) 酸化エチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.042	0.027	0.036	0.031	0.033	0.037
5月	0.11	0.051	0.061	0.054	0.059	0.058
6月	0.17	0.12	0.10	0.11	0.11	0.097
7月	0.020	0.041	0.078	0.022	0.06	0.042
8月	0.10	0.079	0.071	0.075	0.055	0.073
9月	0.069	0.079	0.076	0.11	0.11	0.098
10月	0.054	0.059	0.057	0.057	0.073	0.054
11月	0.041	0.050	0.055	0.030	0.044	0.048
12月	0.046	0.030	0.085	0.052	0.079	0.054
1月	0.025	0.031	0.030	0.031	0.047	0.065
2月	0.030	0.025	0.022	0.031	0.034	0.034
3月	0.031	0.042	0.028	0.027	0.036	0.048
最大値	0.17	0.12	0.10	0.11	0.11	0.098
最小値	0.020	0.025	0.022	0.022	0.033	0.034
平均値	0.062	0.053	0.058	0.052	0.062	0.059

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(16) ベンゾ[a]ピレン

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.027	0.040	0.018	0.045	0.022	0.051
5月	0.024	0.018	0.062	0.048	0.060	0.083
6月	0.089	0.067	0.22	0.097	0.29	0.083
7月	0.021	0.037	0.085	0.029	0.035	0.034
8月	0.059	0.067	0.050	0.060	0.042	0.10
9月	0.0097	0.011	0.014	0.011	0.012	0.019
10月	0.047	0.058	0.11	0.076	0.14	0.12
11月	0.043	0.066	0.065	0.065	0.063	0.13
12月	0.085	0.22	0.13	0.18	0.15	0.28
1月	0.024	0.056	0.064	0.038	0.29	0.15
2月	0.029	0.036	0.030	0.024	0.038	0.062
3月	0.018	0.023	0.040	0.018	0.026	0.061
最大値	0.089	0.22	0.22	0.18	0.29	0.28
最小値	0.0097	0.011	0.014	0.011	0.012	0.019
平均値	0.040	0.058	0.074	0.058	0.097	0.098

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(17) クロムおよびその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.6	1.2	0.51	1.2	0.71	3.8
5月	1.1	1.3	1.9	1.5	2.0	2.9
6月	3.1	2.7	4.6	4.1	6.1	5.1
7月	0.80	1.2	1.4	0.98	2.2	2.7
8月	0.87	1.3	0.43	0.63	1.3	4.6
9月	0.39	0.49	0.16	0.62	1.4	2.4
10月	3.6	1.9	3.0	2.4	3.4	4.4
11月	1.5	1.7	2.4	1.6	2.8	4.5
12月	1.4	2.4	4.0	4.5	4.2	6.4
1月	0.39	0.44	0.75	0.36	3.0	2.8
2月	0.50	0.51	0.51	0.44	0.76	0.89
3月	0.94	1.0	1.2	0.90	1.4	3.6
最大値	3.6	2.7	4.6	4.5	6.1	6.4
最小値	0.39	0.44	0.16	0.36	0.71	0.89
平均値	1.3	1.3	1.7	1.6	2.4	3.7

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(18) 水銀及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.4	1.6	1.7	1.6	1.4	1.5
5月	1.6	1.5	1.6	1.7	1.4	1.6
6月	1.5	1.6	2.0	1.5	1.4	1.5
7月	1.6	1.5	1.7	1.7	1.5	1.7
8月	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.5
9月	1.3	1.3	1.3	1.4	1.1	1.3
10月	1.5	1.5	1.7	1.6	1.5	1.6
11月	1.4	1.3	1.6	1.5	1.4	1.5
12月	1.5	1.3	1.7	1.5	1.5	1.6
1月	1.6	1.5	1.8	1.7	1.6	1.8
2月	1.5	1.4	1.7	1.6	1.6	1.6
3月	1.4	1.4	1.6	1.7	1.3	1.4
最大値	1.6	1.6	2.0	1.7	1.6	1.8
最小値	1.3	1.3	1.3	1.4	1.1	1.3
平均値	1.5	1.4	1.7	1.6	1.4	1.6

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(19) ニッケル化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.92	0.97	0.63	1.1	1.0	1.5
5月	1.0	1.6	1.2	1.1	1.1	2.0
6月	1.3	1.3	2.2	0.77	2.0	2.5
7月	0.56	0.61	1.6	1.8	1.5	2.0
8月	0.88	1.5	0.59	0.41	0.69	2.2
9月	2.9	3.0	2.0	1.5	2.6	2.5
10月	0.99	1.9	1.8	2.5	2.2	2.2
11月	0.90	1.2	1.4	1.2	1.6	2.7
12月	1.0	1.2	2.3	2.0	2.0	4.8
1月	0.39	0.50	1.3	0.5	1.6	1.5
2月	0.29	0.29	0.67	0.26	1.4	0.94
3月	0.48	0.79	2.3	1.7	0.64	1.4
最大値	2.9	3.0	2.3	2.5	2.6	4.8
最小値	0.29	0.29	0.59	0.26	0.64	0.94
平均値	0.97	1.2	1.5	1.2	1.5	2.2

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(20) ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.55	0.52	0.21	0.44	0.52	0.62
5月	0.41	0.49	0.40	0.51	0.51	0.50
6月	0.60	0.74	0.61	0.62	0.65	0.73
7月	0.42	0.38	1.6	0.45	0.63	0.41
8月	0.68	0.52	0.55	0.64	0.76	0.53
9月	0.48	0.48	0.61	0.47	0.67	0.58
10月	0.72	0.79	0.67	0.71	0.80	0.63
11月	0.40	0.39	0.35	0.38	0.51	0.78
12月	0.39	0.27	0.45	0.34	0.73	0.90
1月	0.12	0.18	0.20	0.18	0.33	0.52
2月	0.27	0.26	0.38	0.18	0.28	0.34
3月	0.14	0.20	0.24	0.20	0.20	0.22
最大値	0.72	0.79	1.6	0.71	0.80	0.90
最小値	0.12	0.18	0.20	0.18	0.20	0.22
平均値	0.43	0.44	0.52	0.43	0.55	0.56

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(21) ベリリウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND
5月	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND
6月	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND
7月	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND	0.0050 ND
8月	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND
9月	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND	0.0055 ND
10月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
11月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
12月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
1月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
2月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
3月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
最大値	<0.011	<0.011	<0.011	<0.011	<0.011	<0.011
最小値	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
平均値	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(22) マンガン及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	17	7.9	3.8	7.1	6.5	14
5月	5.0	6.0	5.6	6.5	6.9	12
6月	11	10	13	9.8	17	16
7月	7.1	7.2	8.5	7.9	11	12
8月	6.6	9.9	7.0	8.0	6.5	17
9月	4.7	4.7	4.2	5.3	4.8	11
10月	14	15	11	13	11	20
11月	12	12	20	15	16	20
12月	15	12	20	14	23	27
1月	3.1	4.7	5.5	4.0	11	11
2月	4.7	3.7	4.9	3.4	7.0	7.3
3月	4.0	4.8	6.9	6.3	3.8	8.1
最大値	17	15	20	15	23	27
最小値	3.1	3.7	3.8	3.4	3.8	7.3
平均値	8.7	8.2	9.2	8.4	10	15

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(23) 亜鉛及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	21	31	12	21	19	80
5月	17	22	15	20	31	43
6月	33	32	42	37	88	61
7月	28	27	40	30	51	52
8月	20	38	25	29	34	85
9月	23	23	19	19	25	62
10月	28	43	53	35	44	59
11月	35	47	53	34	57	110
12月	63	54	72	46	110	140
1月	10	21	25	13	85	210
2月	13	15	15	10	51	190
3月	22	23	24	23	20	49
最大値	63	54	72	46	110	210
最小値	10	15	12	10	19	43
平均値	26	31	33	26	51	95

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(24) バナジウム及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.4	0.70	0.45	0.54	0.75	1.4
5月	0.91	1.4	0.61	0.76	0.89	1.4
6月	1.0	1.1	1.3	0.88	1.7	2.1
7月	0.42	0.51	0.42	0.35	0.70	0.88
8月	0.79	1.2	0.76	0.79	0.58	1.5
9月	0.66	0.65	0.78	1.0	0.81	1.2
10月	1.6	1.6	1.3	1.2	1.6	2.3
11月	0.64	0.77	0.72	0.48	0.93	1.3
12月	0.92	0.98	1.9	1.4	1.6	2.0
1月	0.23	0.46	0.45	0.49	1.0	1.1
2月	0.23	0.33	0.32	0.19	0.58	0.63
3月	0.15	0.27	0.20	0.15	0.17	0.39
最大値	2.4	1.6	1.9	1.4	1.7	2.3
最小値	0.15	0.27	0.20	0.15	0.17	0.39
平均値	0.83	0.83	0.77	0.69	0.94	1.4

* : 定量下限値未満 , ND : 検出下限値未満 , ■ : 二重測定との平均

(25) カドミウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.084	0.11	0.039	0.080	0.060	0.11
5月	0.042	0.044	0.042	0.18	0.055	0.063
6月	0.10	0.097	0.086	0.096	0.087	0.081
7月	0.072	0.060	0.19	0.058	0.091	0.071
8月	0.088	0.079	0.070	0.089	0.061	0.069
9月	0.061	0.060	0.074	0.061	0.063	0.068
10月	0.088	0.12	0.12	0.083	0.081	0.08
11月	0.11	0.069	0.10	0.079	0.093	0.10
12月	0.099	0.11	0.22	0.13	0.14	0.11
1月	0.022	0.038	0.055	0.039	0.084	0.074
2月	0.049	0.069	0.028	0.032	0.043	0.054
3月	0.044	0.045	0.060	0.055	0.048	0.079
最大値	0.11	0.12	0.22	0.18	0.14	0.11
最小値	0.022	0.038	0.028	0.032	0.043	0.054
平均値	0.072	0.075	0.090	0.082	0.076	0.080

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(26) 鉛及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	3.6	5.2	2.1	2.9	4.3	4.9
5月	2.9	4.7	3.3	2.6	4.5	3.9
6月	5.2	4.6	6.2	5.6	5.8	5.3
7月	1.8	1.9	3.8	1.4	3.8	3.0
8月	2.0	4.2	2.3	2.2	3.5	4.3
9月	1.9	1.9	2.1	1.7	1.9	5.3
10月	2.5	4.5	3.9	3.3	3.7	7.3
11月	2.6	2.8	5.0	2.8	3.3	4.7
12月	3.4	3.0	7.4	3.1	13	14
1月	1.1	1.4	2.6	1.7	4.5	51
2月	2.2	1.6	1.5	1.2	2.0	4.5
3月	1.7	1.3	4.2	1.3	1.6	2.6
最大値	5.2	5.2	7.4	5.6	13	51
最小値	1.1	1.3	1.5	1.2	1.6	2.6
平均値	2.6	3.1	3.7	2.5	4.3	13

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(27) 浮遊粉じん

(単位: μg/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	34	24	18	23	21	39
5月	19	22	17	20	20	29
6月	27	26	29	24	31	36
7月	15	20	18	15	24	26
8月	16	24	18	18	16	34
9月	17	21	17	16	17	28
10月	30	35	22	29	24	37
11月	21	17	23	20	35	36
12月	20	21	25	17	38	45
1月	7	13	11	7	32	27
2月	8	12	9	17	27	21
3月	14	16	18	13	13	23
最大値	34	35	29	29	38	45
最小値	7	12	9	7	13	21
平均値	19	21	19	18	25	32

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

※ NDを付した測定値は検出下限値の1/2(これを平均値算出に用いている)

※ 最大値・最小値が検出下限値未満の場合は「<検出下限値」として表示

表 I - 1 1 調査時間帯の気象データ

(1) 天候

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨
5月	曇	晴のち雲	晴のち雲	晴のち雲	晴のち雲	晴のち雲
6月	晴	晴	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇
7月	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨	曇のち雨
8月	晴	曇のち晴	晴	曇のち晴	曇のち晴	晴
9月	曇のち晴	雨のち晴	曇のち晴	曇	曇のち晴	曇のち晴
10月	晴のち曇	晴のち雨	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇
11月	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴
12月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
1月	晴のち曇	晴	晴	晴	曇のち晴	曇のち晴
2月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
3月	雨のち曇	雨のち曇	雪のち曇	雨のち曇	雨のち曇	雨のち曇

(2) 主風向

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	ENE	ENE	E	ENE	NE	E
5月	SE	CALM	SSE	ESE	CALM	S
6月	SE	NE	SE	E	CALM	S
7月	WNW	CALM	N	WNW	NNE	WNW
8月	SE	ESE	SE	E	NE	SE
9月	WNW	N	N	NW	NNE	N
10月	ESE	NNW	NNE	NE	ENE	S
11月	WNW	NW	NW	WNW	NNE	NW
12月	NW	CALM	N	WNW	CALM	WNW
1月	WNW	CALM	NW	WNW	CALM	W
2月	WNW	NW	NW	WNW	NW	NW
3月	CALM	CALM	CALM	CALM	NNE	NNE

(3) 風速

(単位: m/s)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.4	0.9	1.8	2.4	0.7	1.1
5月	1.2	1.2	1.9	2.3	0.8	1.9
6月	1.5	1.3	1.6	2.4	0.7	1.9
7月	1.0	1.0	1.1	1.1	0.9	1.2
8月	1.6	1.2	2.0	2.3	0.9	1.5
9月	1.0	0.9	1.9	1.8	1.4	1.3
10月	1.3	0.9	1.8	2.1	1.3	2.0
11月	2.7	1.5	1.8	2.7	1.3	1.8
12月	1.1	0.9	1.0	1.4	0.7	0.9
1月	2.2	1.5	1.8	3.0	0.9	1.6
2月	2.8	2.6	2.0	3.3	1.3	2.4
3月	0.9	0.6	0.8	1.2	1.3	1.0

(4) 気温

(単位: °C)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	15.3	15.8	16.2	15.5	16.5	17.0
5月	19.7	19.9	19.3	19.4	19.5	20.3
6月	22.9	23.1	22.4	21.8	22.5	23.3
7月	24.5	25.2	25.8	24.7	26.6	27.1
8月	30.7	30.1	30.4	29.2	30.2	30.5
9月	25.1	24.2	25.3	24.4	25.0	25.2
10月	25.7	26.5	24.8	25.4	26.1	27.1
11月	13.4	12.9	13.3	12.1	13.5	13.9
12月	7.4	6.9	7.1	6.3	7.9	8.3
1月	7.7	6.9	6.9	6.8	6.9	7.0
2月	3.3	3.8	3.9	2.9	4.2	4.6
3月	2.1	2.1	1.5	0.9	1.7	2.4

(5) 湿度

(単位: %)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	85	87	82	82	76	74
5月	78	77	83	72	76	72
6月	59	57	65	55	59	55
7月	90	88	86	79	77	76
8月	71	76	76	72	72	72
9月	78	88	77	74	76	78
10月	70	70	83	63	74	70
11月	61	71	68	64	64	65
12月	55	59	63	53	54	53
1月	39	50	47	38	49	54
2月	49	50	49	52	45	47
3月	76	85	86	88	78	83

(6) 雨量

(単位: mm)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学*2	草加花栗	戸田美女木
4月	8.5	-	-	4.5	-	-
5月	9.0	-	-	4.5	-	-
6月	0.0	-	-	0.0	-	-
7月	12.5	-	-	0.5	-	-
8月	0.0	-	-	0.0	-	-
9月	10.5	-	-	1.5	-	-
10月	0.0	-	-	0.5	-	-
11月	0.0	-	-	0.0	-	-
12月	0.0	-	-	0.0	-	-
1月	0.0	-	-	0.0	-	-
2月	0.0	-	-	0.0	-	-
3月	5.5	-	-	15.5	-	-

(7) 気圧

(単位: hPa)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1017.2	-	-	-	-	-
5月	1009.5	-	-	-	-	-
6月	1018.9	-	-	-	-	-
7月	1001.8	-	-	-	-	-
8月	1002.8	-	-	-	-	-
9月	1011.4	-	-	-	-	-
10月	1015.4	-	-	-	-	-
11月	1019.3	-	-	-	-	-
12月	1015.1	-	-	-	-	-
1月	1005.0	-	-	-	-	-
2月	1000.6	-	-	-	-	-
3月	1025.0	-	-	-	-	-

出典: (1) 天候は測定者によるもの、(2)主風向 ~ (7)気圧は以下の1時間値データを基に算出した測定時間中の平均値(主風向は最頻値)

(無印) 埼玉県大気汚染常時監視システム

* 1 気象庁ホームページ

(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

* 2 埼玉県環境科学国際センター観測データ